

表-6 基幹的農業従事者数の見直し (単位:人)

地帯	区分	40年	45年	52年
		中央地域	熊本平野	21,500
	宇土半島	10,100	8,950	6,900
	下益城	20,200	17,300	12,600
	玉名平野	20,200	16,700	11,500
	金峰山麓	6,870	6,270	5,010
	玉名北部	10,400	8,990	6,690
	鹿本	24,900	22,300	15,600
	菊池北部	13,900	12,600	9,890
	菊池南部	13,900	12,200	9,200
	上益城平坦	15,000	12,400	8,670
	八代	24,300	21,600	16,500
	計	181,200	156,500	113,500
高原地域	阿蘇中部郷	9,230	7,970	5,960
	小国郷	4,130	3,670	2,850
	阿蘇南部郷	6,980	6,300	4,990
	矢部郷	9,440	8,540	6,810
	計	29,800	26,500	20,600
南部地域	下球磨	13,800	11,800	8,630
	上球磨	11,600	9,830	7,070
	計	25,400	21,600	15,700
海岸島しょ地域	芦北	11,600	9,360	5,690
	上島	14,100	10,400	6,140
	下島北部	14,900	12,000	7,920
	下島南部	8,370	6,030	3,440
	計	49,000	37,800	23,190
合 計		285,500	242,400	173,000

は、とりわけ圃場整備・農道の開設および舗装・湿田の解消・洪水の防除・用排水の分離を最大の課題として重点的に整備を進めることとしている。

次に用水対策では、整備された圃場について、その機能の発揚は、ひとえに適時適切な用水供給の可能性の如何にかかっているとしても過言ではない。このため水資源の積極的な開発を進めるとともに、用水利用の効率化のための技術開発を重点的に進めることとしている。

④ そこで、粗生産額、所得、労働生産性及び土地生産性を見直しについては表一八及び図一、二、三による。

は、とりわけ圃場整備・農道の開設および舗装・湿田の解消・洪水の防除・用排水の分離を最大の課題として重点的に整備を進めることとしている。

次に用水対策では、整備された圃場について、その機能の発揚は、ひとえに適時適切な用水供給の可能性の如何にかかっているとしても過言ではない。このため水資源の積極的な開発を進めるとともに、用水利用の効率化のための技術開発を重点的に進めることとしている。

④ そこで、粗生産額、所得、労働生産性及び土地生産性を見直しについては表一八及び図一、二、三による。

5 就業構造の改善

現下の農家における就業構造改善の課題は、つまるところ経営の内部における労働力の確保と能力の向上および経営の外部における農外就業との関係の改善の二つにわたるものと考えられる。

このため、経営の内部に対しては、先ず自立的農家群を中心とする後継者の確保を期するとともに、その生産技術および経営能力の向上をはじめ連帯感の高揚をはかることとする。

一方、経営の外部に関しては、先ず農

6 新しい生活環境の整備

村地域への工業の導入が当面しているが、ここでは農業と工業との環境面における調和の確保への配慮を充分に行ないながら、かつ、農家からの工業部門への就業の結果が、その農家の経営改善へ寄与できるようとめることとする。

また、近年、恒常化の傾向にある出稼ぎへの対策についても、その就業条件の改善や安全の確保をはかるとともに、その就業の結果がその農家における経営改善の起爆力として役立つよう誘導することとする。

かつて農村では、生産第一をモットーとして、ある程度の生活面の犠牲はやむを得ないとする風潮が一般的であった。しかし近年の農村では、このことは次第に改められながら、生活環境の分野ではなお多くの問題が残されている。しかもこのところ、これまでの農業だけの生産や生活の場としての役割だけでなく、数多くの職業の人々の住居地域としての性格も加わり、さらに一部では公害の発生を見るなど、新たな要素も加わっている。

このため、この農業計画では、特に農村の生活環境の整備を重視することとした。先ず実情を分析するとともに、問題の性質が個人の力のおよぶ範囲を越えるのが大部分であるので、農業と農村の側から問題の所在と方向を明らかにした。そして今後は、新たな農村環境総合整備事業をはじめ、諸般の関連施策の実施によって、住みよい豊かな生活環境の整備をはかることとしている。

表-5 経営耕地面積の見直し (単位:ha)

地帯	区分	44年					合計	52年					合計
		田	畑					田	畑				
			普通畑	樹園地	牧草地	計			普通畑	樹園地	牧草地	計	
中央地域	熊本平野	7,010	3,290	470	—	3,760	10,800	6,650	2,260	450	—	2,710	9,360
	宇土半島	2,890	370	2,930	—	3,300	6,190	2,800	310	3,170	—	3,480	6,280
	下益城	6,960	1,200	1,880	—	3,090	10,100	6,450	1,000	2,500	—	3,500	9,950
	玉名平野	6,370	1,520	1,810	—	3,340	9,700	6,390	1,080	1,750	50	2,880	9,270
	金峰山麓	900	120	2,310	—	2,430	3,330	850	140	2,440	—	2,580	3,430
	玉名北部	2,590	880	1,560	—	2,440	5,040	2,380	710	2,000	—	2,710	5,090
	鹿本	6,750	2,660	2,760	—	5,420	12,200	6,340	2,410	3,210	—	5,620	12,000
	菊池北部	4,280	2,050	1,270	170	3,480	7,760	3,890	2,020	1,650	620	4,290	8,180
	菊池南部	2,880	6,120	860	210	7,190	10,100	2,730	5,550	1,400	760	7,710	10,400
	上益城平坦	4,830	2,390	1,180	150	3,720	8,540	4,330	1,850	1,570	190	3,610	7,940
八代	10,400	510	1,180	—	1,690	12,000	9,920	340	1,490	—	1,830	11,800	
	計	55,800	21,100	18,200	520	39,900	95,700	52,700	17,700	21,600	1,620	40,900	93,600
高原地域	阿蘇中部郷	5,310	2,190	240	1,700	4,130	9,430	5,090	1,860	680	4,070	6,610	11,700
	小国郷	1,690	310	75	640	1,020	2,710	1,500	350	160	1,060	1,570	3,070
	阿蘇南部郷	2,570	2,620	320	370	3,310	5,890	2,470	2,370	580	1,340	4,290	6,760
	矢部郷	3,600	2,080	400	280	2,760	6,350	3,050	2,520	2,240	1,160	5,920	8,970
	計	13,200	7,190	1,030	2,980	11,200	24,400	12,100	7,100	3,660	7,630	18,400	30,500
南部地域	下球磨	4,240	1,510	1,090	42	2,640	6,870	3,920	740	1,980	320	3,040	6,960
	上球磨	5,050	1,030	490	33	1,550	6,590	4,700	570	800	220	1,590	6,290
	計	9,290	2,530	1,580	75	4,180	13,500	8,620	1,310	2,780	540	4,630	13,300
海岸島しょ地域	芦北	2,130	480	2,090	20	2,590	4,720	1,940	380	2,350	50	2,780	4,720
	上島	2,550	1,900	1,670	12	3,590	6,130	2,030	1,550	1,840	30	3,420	5,450
	下島北部	3,130	2,000	2,130	20	4,160	7,290	2,690	1,450	2,590	30	4,070	6,760
	下島南部	1,750	1,220	1,260	—	2,490	4,240	1,370	680	1,760	5	2,450	3,820
	計	9,570	5,600	7,160	52	12,800	22,400	8,030	4,060	8,540	120	12,700	20,800
合 計		87,800	36,400	28,000	3,630	68,100	155,900	81,500	30,100	36,600	9,910	76,600	158,100

注) ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。